

探海燈下潜航艇泊艦隊搜索実施方策書

一、駆逐艦隊の天候ノ許ス限リ演習第二日自洋迄之金田湾金田沖ヲ集合俟泊ス

二、駆逐艦艇隊ハ羽根田燈台ト水更津ノ結右線ヲ西南ニ依泊シ

バ敵艦隊搜索ノ目的以テ右隊司令ノ先任順序ニ依リ第一駆

逐隊ハ午後十時第二艦隊ハ午後十時十五分第三艦隊ハ午後

十時三十分各駐崎ト浮島トノ結右線ニ達スル如ク金田湾ヲ潜シ

十節速力以テ司令ノ欲スル航路ヲ採リ湾内探海燈下ヲ潜航

シテ第三海堡ト正西一里ノ地矣ト達ス可シ

三、第一海堡ト正西一里ノ地矣以テ敵艦隊搜索ノ起矣トシテ第一駆逐

隊ハ起矣ト羽根田燈台ノ南ニ東三厘ノ地矣同ク一ノ先突ハ

間隙以テ搜索列ヲ張リ航行スルニ艦隊ハ起矣トシテ根田沖

五、隊若くは艦ヲ敵ノ邊見しん中ハ他ノ隊若くハ僚艦ノ顧慮ナク  
 ナリ直ニ敵ノ襲撃ヲスベシ而シテ他ノ隊若くハ僚艦ノ襲撃ヲ  
 困リ擾乱セラズ敵ノ操海燈塔若くハ砲声ヲ目標トシテ引付掛  
 増下ニ集テ襲撃隊ヲ制リ奥留攻撃ヲ続行スルベシトス  
 六、襲撃隊實行后ノ集在地更ニ艦隊伍治地附近ト守ル  
 七、捜索隊羽根田燈塔ト水更津トノ結合線上ニ停ルニ備フ敵ヲ發見  
 シ得サルハ各隊ノ更ニ遠航シテ捜索ヲ開始スルベシ但シ成ル所  
 往航ノ異ハ航路ヲ擇ム可ク要ス然ルモ尚ホ敵ヲ發見シ得ザル  
 四、廣敵陣連カハ微速トテ節トス但シ何時モ襲撃力ヲ十五分節  
 トナラ準備スルベシ  
 三、艦隊ヲ及羽根田ノ到ルハ沿岸ヲ單縦隊以テ潜航捜索シ亦且  
 艇隊ハ起真ヨリ單航シ富津水更津及盤洲ノ到ル迄沿岸ヲ單縦  
 隊以テ潜航捜索スルベシ

仲、午前四時迄検査ノ行動ヲモシ常敵ヲ好ク可シ

八、前号ノ如クモ尚敵ヲ蔑見ニ属カリシハ、集令地奥ヲ板岸湾トシテ

九、湾ト板岸湾下陸航時ニ於テ、敵ヲ蔑見セシ概略ヲ受ルルモ、大尉

セカ

十、各隊司令ハ、金田湾出港時刻捜索起兵到ル航路中及

東西両沿岸ニ於テ、針路及集令地(羽根田、水更野、筑谷線内)

先ニ必要事項ヲ定メ、各其部下ニ令示スルト共ニ、一、駆逐隊司令

ニ報告スルモノトシ

(注意) 常敵ヲ襲撃執行ニ方リ、其隊令時ニ令示方角ヲ襲

撃ヲシ、場合ニ先任司令ノ隊ノ讓守ニ時ヲ異ニモルハ、所

着隊ノ先着隊ノ運動妨害セサントシ、其行動終ルリ得テ是

ヲ動スルモノトシ

(終)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

洋  
宣

1192

一 駆逐隊密着第二号

四十一年七月十五日

於改重

藤田第一駆逐隊司令

第一駆逐隊訓令

一 当隊東京湾内へ仮泊し戦艦二隻より成る敵艦隊ヲ捜索ス  
ル目的ヲ以テ演習第二日午後九時四十分金田沖仮泊地ヲ差シ左  
記ノ予定航路ヲ依リ十時五分迄ニ第二海堡正西一哩十八搜  
索起兵ニ達スレトス速力十二ノ節

EBN 3.6

N18°E 6.5

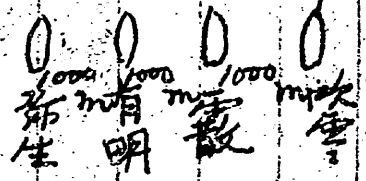
N57°W 2.8

二 捜索起兵ノ際セウ微速(六節)トナシ正北ニ変針ニ六哩ヲ航進シ  
午後十時十分至ラズ特令無クシテ左圖ノ如ク捜索列ヲ制リ

要

旨

北東之北針路ヲ係テ羽根燈台南之東ニ東ニ連ル集金地矣  
 軌行ス



三、隊中一船敵ヲ発見シタル中ハ方業書所定ノ如ク行動スルモ其時  
 々他隊既ニ敵ヲ発見シ其所在ヲ知リ且中ハ司令船ト直ニ航海燈  
 塔ヲ燈シ且自燈ニ個々楳頭ニ連揚ス各船ハ東カニ司令船ト  
 ニ集信號ヲ發シ連カ十五節トシ閉巨砲ヲ以テ司令誘導下ニ  
 突進ス急撃ス可シ

四、集金地矣達ス迄南敵ヲ発見シ得ル中ハ司令船ヲ首尾監視甲七分予

定)司令艦の前号ト全機艦火ヲ失スルハ各艦ハ速カニ司令艦ノ下ニ  
集令前針路ヲ左轉シ司令艦ヲ右翼トセル同ノ搜索列ヲ組リ  
索敵ヲ復行ス

五 前號ノ如クニ搜索起スル附近ニ遠クモ哨機見シト得サル時ハ待令  
ミテ極宜ノ行動ヲ採リ午前四時迄搜索ヲ継続スルモノトス  
大 襲撃決定後ハ航路燈塔力燈ヲ出シ司令艦ノ通風口ヲ進カセトス

(注意)

夜中行動ニ關スル特定信号ハ各隊ニ從前定メタルモノヲ襲撃用ス

(終)





一 駆逐隊密第三号

甲午年七月二十五日  
於水雷

藤田第一駆逐隊司令

駆逐隊艇隊訓令

演習第三日夜に於て艇隊襲撃演習ハ訓紙定見所  
実施方案書ニ依り行動不可

(終)

海軍